

# 歯科「新型コロナウイルス感染拡大の影響に関する緊急調査(第2回)」集約結果

## ・調査の目的

第1回調査後、国の緊急事態宣言が全面解除されたことも含め、改めて新型コロナウイルス感染症拡大による影響や現場が抱える問題、歯科会員の意見・要求を把握する。

・調査期間：2020年6月5日(金)～6月22日(月) (第1回：2020年4月15日(水)～5月10日(日))

## ・調査対象者、実施方法

歯科会員675名に調査用紙を送付、ファックスで返送いただいた(第1回は当会医科歯科会員1617名と、会員以外で住所を把握している医師・歯科医師3168人を対象とした。)

・回答数：78人(11.6%) (第1回：歯科52人)

少数以下は四捨五入のため一部合計が100%にならない箇所があります。

## 1. 基本事項

①年齢	回答数	割合(%)
20代～30代	3	3.8
40代	21	26.9
50代	19	24.4
60代	27	34.6
70代～	8	10.3
合計	78	100.0

②病院・診療所の土地・建物	回答数	割合(%)
自己所有	40	51.3
賃貸(一戸建て)	10	12.8
賃貸(テナント)	25	32.1
無回答	3	3.8
合計	78	100.0

③診療形態について	回答数	割合(%)
外来のみ	44	56.4
訪問診療を行っている	30	38.5
無回答	4	5.1
合計	78	100.0

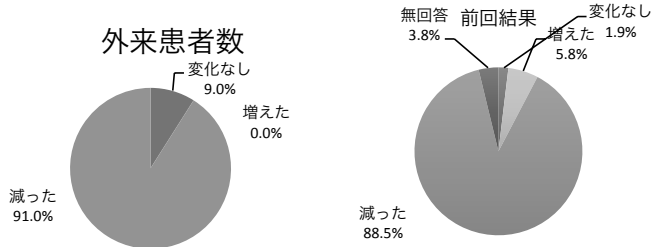
④診療所の主な標榜科	回答数	割合(%)
歯科	76	97.4
口腔外科	32	41.0
小児歯科	48	61.5
矯正歯科	25	32.1
合計	—	—

※複数回答可

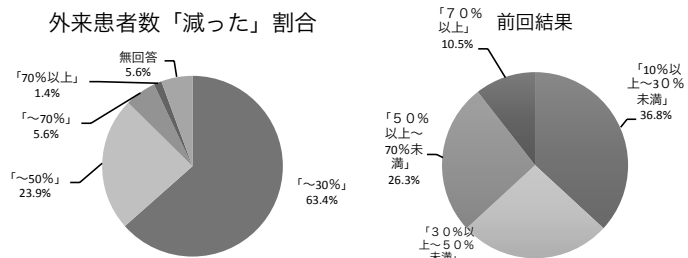
## 2. 診療状況(①～④は今年5月と前年5月の比較)

外来患者数について「減った」が91.0%、「変化なし」9.0%、「増えた」0%であった。前回調査と比較して、「減った」の回答割合が多くなっている。減少割合は「～30%」が63.4%、「～50%」が23.9%、「～70%」が5.6%、「70%以上」が1.4%の順となった。

①外来患者数	回答数	割合(%)
変化なし	7	9.0
増えた	0	0.0
減った	71	91.0
合計	78	100.0

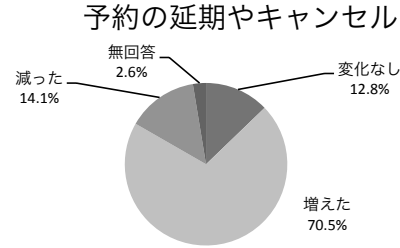


①外来患者数「減った」割合	回答数	割合(%)
～30%	45	63.4
～50%	17	23.9
～70%	4	5.6
70%以上	1	1.4
無回答	4	5.6
合計	71	99.9

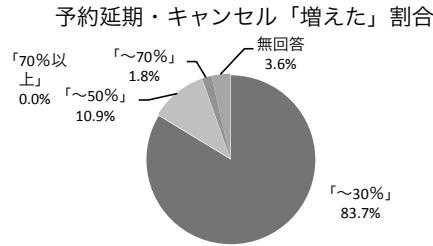


予約の延期やキャンセルについて「増えた」70.5%、「減った」14.1%、「変化なし」12.8%だった。「増えた」の割合は「～30%」が83.7%、「～50%」が10.9%、「～70%」が1.8%、「70%以上」が0%の順となった。

②予約の延期やキャンセル	回答数	割合(%)
変化なし	10	12.8
増えた	55	70.5
減った	11	14.1
無回答	2	2.6
合計	78	100.0

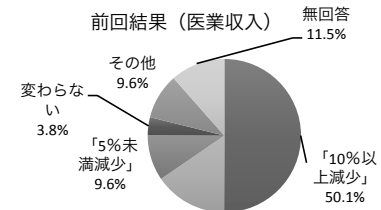
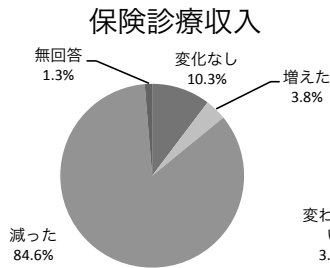


②予約の延期やキャンセル「増えた」割合	回答数	割合(%)
～30%	46	83.7
～50%	6	10.9
～70%	1	1.8
70%以上	0	0.0
無回答	2	3.6
合計	55	100.0



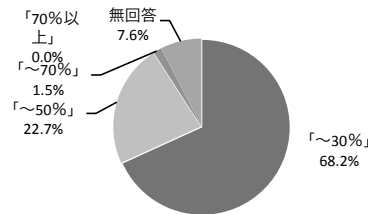
保険診療収入について、「減った」が84.6%、「変化なし」10.3%、「増えた」3.8%だった。前回調査は75.1%が「減少」と回答していたため、収入減少数の割合は前回より増えている（前は医業収入として聞いている）。減少割合は「～30%」が68.2%、「～50%」が22.7%、「～70%」が1.5%、「70%以上」が0%の順となった。

③保険診療収入	回答数	割合(%)
変化なし	8	10.3
増えた	3	3.8
減った	66	84.6
無回答	1	1.3
合計	78	100.0



③保険診療収入「減った」割合	回答数	割合(%)
～30%	45	68.2
～50%	15	22.7
～70%	1	1.5
70%以上	0	0.0
無回答	5	7.6
合計	66	100.0

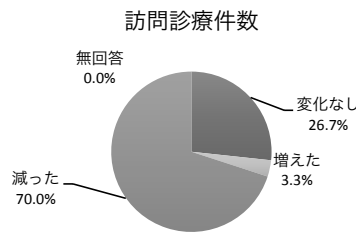
保険診療収入「減った」割合



訪問診療件数について「減った」が70.0%、「変化なし」26.7%、「増えた」3.3%だった。減少割合は、「70%以上」が38.1%、「～30%」が38.1%、「～50%」が14.3%、「～70%」が9.5%の順となった。

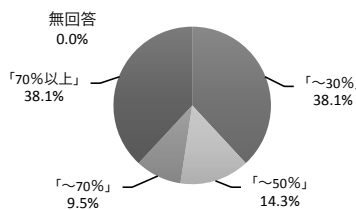
④訪問診療件数	回答数	割合(%)
変化なし	8	26.7
増えた	1	3.3
減った	21	70.0
無回答	0	0.0
合計	30	100.0

※訪問診療を行っている場合のみ回答



④訪問診療件数「減った」割合	回答数	割合(%)
～30%	8	38.1
～50%	3	14.3
～70%	2	9.5
70%以上	8	38.1
無回答	0	0.0
合計	21	100.0

訪問診療件数「減った」割合



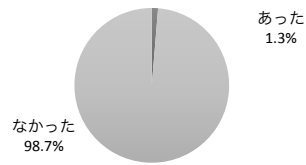
新型コロナウイルス感染症対策で時限的・特例的に電話や情報通信機器による初再診料が可能になりましたが、実際におこなった症例はありましたか？

「なかった」が98.7%に対し、「あった」は1.3%で症例数は1件のみだった。

⑤電話初・再診件数	回答数	割合(%)
あった	1	1.3
なかった	77	98.7
合計	78	100.0

※症例数1件

電話初・再診件数

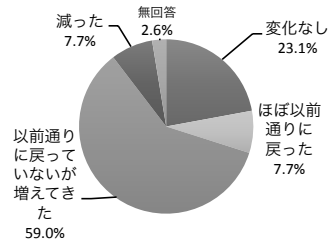


#### 国の緊急事態宣言全面解除(5/25)以降の患者の動向

「以前通りに戻っていないが増えてきた」は59.0%と半数を超えていることが分かった。「減った」は7.7%、「変化なし」は23.1%、「ほぼ以前通りに戻った」は7.7%だった。

⑥緊急事態宣言解除後の動向	回答数	割合(%)
変化なし	18	23.1
ほぼ以前通りに戻った	6	7.7
以前通りに戻っていないが増えてきた	46	59.0
減った	6	7.7
無回答	2	2.6
合計	78	100.1

緊急事態宣言解除後の動向



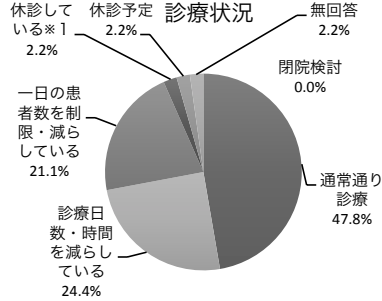
#### ⑦患者さんの受診手控え、訪問診療先から断られる、診療できないことによる患者さんの口腔状況等悪化等、お気づきの点、お困りの点

- ・ 困難な治療や重症ケース者が受診しなくなった。
- ・ 訪問診療2ヵ月程中断（先方の理由）したら口腔内清掃状況の変化が著明であった。
- ・ 訪問診療している施設入所者で自力歯磨き、義歯脱着困難な患者の口腔内の汚れが気になる。（施設職員が義歯の脱着や口腔清掃をしてくれない）
- ・ 歯肉炎、歯周病の症状がすすんでいる人が増えてしまった気がする。
- ・ メンテナンスの間隔があいた事による不具合で急性対応が増えた。
- ・ 受診理由で出血、歯肉炎の患者が増えている。
- ・ 歯科は危険との風評があり、患者様が診療を控えられました。6月上旬の河北新報のように、十分気をつけ対策すれば大丈夫なことをPRする必要があります。
- ・ 歯周病が悪化しているケースが散見される。
- ・ 患者さんの受診控えのため、基礎疾患のある方など口腔状態の悪化を強く心配しています。
- ・ 酷くなってから来院するので、以前より抜髄、抜歯等の大変な患者が増える。
- ・ 入院、全身麻酔で骨切除を要する口腔外科手術が延期となり手術スケジュールの調整が難しい（コロナ禍で学校、会社の休みが確定していないため）。
- ・ 受診控えについては患者さんより言われる事が多い。特に施設側から訪問断られる。東日本大震災後と同じようにP急発、per症状悪化受診が多い？
- ・ 施設（有料老人ホーム）の患者が厚労省の促しによって本人が知らないまま半年近く経過し、急発している人が多かった。衛生用品の価格の上昇もあり、なぜグローブや紙コップなどの消耗品が多い歯科が医科より初・再診料が少ないのか。
- ・ 高齢者が皆太っていた。
- ・ 口腔内の悪化が見られる。中断の患者さんが比較的多い。
- ・ 受診の控えやキャンセルの患者様は増えてきましたが、少しずつ戻ってきてます。
- ・ 4月より介入していない施設の患者様がお亡くなりになりました。摂食指導（1回のみ）中でフォローが必要な方でした。そちらの施設は未だに訪問再開できずです。その他、口腔ケア、リハのみの介入は中止となっている施設もいくつかありました。未だにケアでの介入は再開できていないため、処置時にケア出血という方も多くいらっしゃいました。
- ・ 定期検診の患者さんの減少が顕著です。感染防止の為に口腔ケアは大切だと考えますが、いまだに歯科医院は感染リスクが高いと受診を控える方があとをたちません。なんとかして誤解を払拭できれば良いのですが。
- ・ 歯科は感染リスクが高いという事をキャンセル時に言われ、おたくの診療所では危ないと言われた。理由を教えてくださいなかつた。
- ・ 歯科治療ケアは新型コロナウイルス予防はできないのではないのかという問い合わせあり。
- ・ 歯科診療に関してマスクが感染リスクが高いとの報道をしたため行きたくない旨のキャンセルが数件あった。
- ・ マスコミで報じられた歯科医院でコロナウイルスに感染するということを信じ受診しない人々がいた。

### 3. 診療の状況に関して(複数回答可)

「通常通り診療している」は47.8%と半数近くを占めているが、「診療日数・時間を減らしている」24.4%と、「一日の患者数を制限・減らしている」21.1%を合わせると45.5%であり、「通常通り診療している」と同程度であることが分かった。「休診している」2.2%、「休診を予定している」2.2%、「閉院を検討」は0%であった。

診療状況	回答数	割合(%)
通常通り診療している	43	47.8
診療日数・時間を減らしている	22	24.4
一日の患者数を制限・減らしている	19	21.1
休診している※1	2	2.2
休診を予定している	2	2.2
閉院を検討	0	0.0
無回答	2	2.2
合計	—	—



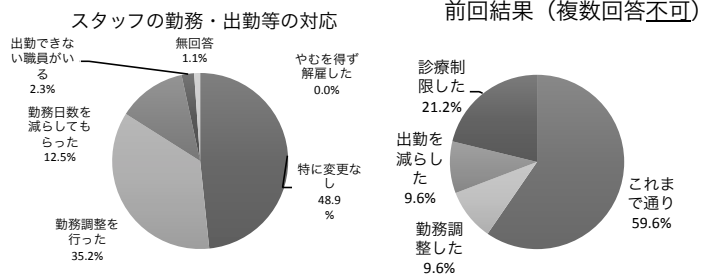
※複数回答可、※1の期間は(5/14~5/26休診していた)((4/13~5/6まで休診、水曜のみ17時まで診療)

### 4. スタッフの勤務・出勤等の対応について(複数回答可)

「特に変更なし」が48.9%と半数近くを占めているが、「勤務調整を行った」35.2%と、「勤務日数を減らしてもらった」12.5%を合わせると47.7%で「特に変更なし」と同程度であることが分かった。前回調査(複数回答不可)と比較すると、「特に変更なし(これまで通り)」の割合が今回調査で減っているのに対し、勤務調整を行った割合が大幅に増えていることが分かった。

4. スタッフの勤務・出勤等の対応	回答数	割合(%)
特に変更なし	43	48.9
勤務調整を行った	31	35.2
勤務日数を減らしてもらった	11	12.5
出勤できない職員がいる	2	2.3
やむを得ず解雇した	0	0.0
無回答	1	1.1
合計	—	—

※複数回答可

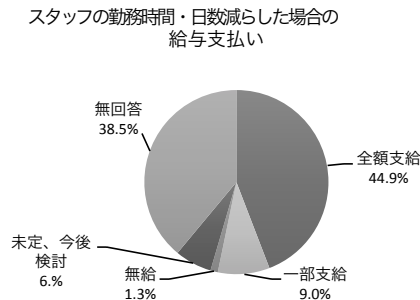


### 5. スタッフの勤務時間・日数を減らした場合の給与支払いについて

44.9%が「全額支給している」と回答しているが、「一部支給している」が9.0%、「無給としている」が1.3%いることが分かった。「未定、今後検討」は6.4%、無回答は38.5%であった。「一部支給している」の回答者に支給割合を聞いたところ、「60%」が5人、70%が1人、85%が1人であった。

5. スタッフの勤務時間・日数を減らした場合の給与支払い	回答数	割合(%)
全額支給している	35	44.9
一部支給している	7	9.0
無給としている	1	1.3
未定、今後検討	5	6.4
無回答	30	38.5
合計	78	100.1

\*一部支給割合は60%が5人、70%が1人、85%が1人



### 6. 医薬品や衛生用品等の現時点での確保状況(記述式)

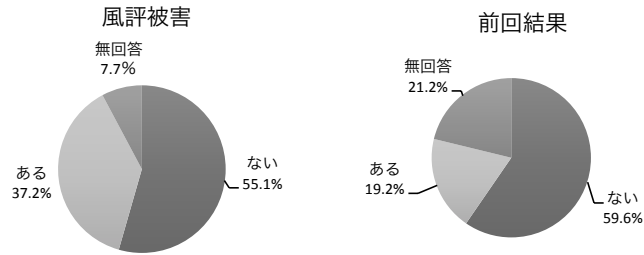
消毒用アルコールが16人、エタノールが8人、マスクが15人、N95マスクが3人などの回答が寄せられた。「特になし」は5人であった。

現在不足しているもの(記載)
マスク(15)、N95マスク(3)、消毒用アルコール(16)、エタノール(8)、高濃度アルコールジェル、ペーパータオル、ディスポのエプロン(3)、サージカルガウン(3)、グローブ(5)、防護服(2)、患者用エプロン、スタッフ用帽子、スタッフ用ガウン、ゴーグル、ヘッドレスカバー、滅菌パック(2)、その他もやっと手に入るが高騰していると感じる、価格が以前より高めです、今はないがアルコールが心配、特になし(5)

## 7.風評被害

37.2%が「ある」と回答し、前回調査より「ある」が倍増した。具体例として、「歯科が一番危ないとTVで観たと言われた」、「歯科治療での感染がこわいのでというキャンセルが4、5月は多かった」など寄せられた。

7.「風評被害」について	回答数	割合(%)
ない	43	55.1
ある	29	37.2
無回答	6	7.7
合計	78	100.0



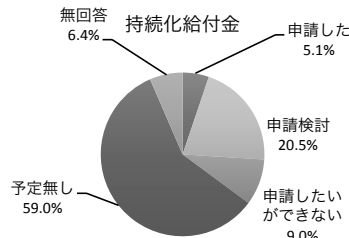
### 風評被害の具体例等

- ・唾液の飛沫でうつる
- ・歯科医院での感染リスクの問い合わせあり
- ・TVで報道された時「歯科に行くことでコロナになる」ような言い方をされてしまった。驚いた。
- ・密な接触になるのは事実
- ・歯科が一番感染しやすいんですよねと何度も言われた
- ・ワイドショーでの飛沫があぶないとの報道があつてから、キャンセルがかなり増えました。近くの英会話教室からクラスターが発生しましたが、そこが以前歯科医院だったため、歯科医院からコロナが広がったとのデマにより歯科は危ないとの誤った情報が広まっていました。
- ・医療機関で感染する心配がありしばらく行きません。
- ・エアロゾル感染、待合室で密になるのではないかと
- ・症状ない患者の来院低下
- ・歯科は感染リスクが高いという報道等による患者自身の受診控え（5月の減収は前年度比25%減）
- ・歯科が一番危ないとTVで観たと言われた。経営が大変な患者さんの健康のために診療を維持しようとしていたが、スタッフと心が折れた。
- ・予約の方のキャンセルが多かった。
- ・歯科医院は危ないというイメージができています
- ・歯科医院が危険な場所というマスコミの情報による
- ・患者さんが怖がって予約をキャンセルする方が多かったです
- ・診療台（ユニット）に座ったあと、あからさまに「コロナが怖い！！」と言った患者さんが何名かいました。
- ・クリーニングで来院された方は自粛しているようです。
- ・歯科のマスコミからの風あたり（不要不急にされている点）
- ・唾液がメディアで取り出されてから子どもまでレントゲンフィルムなどディスクでカバーしているものについて意見を言う人が増えた。全てディスクを望むなら、当然自分で負担してもらわなければならない。
- ・わからない。直接耳に入ってはいないが患者さんの減少率をみるとあるのかもしれない
- ・受診の控えや予約の延期はあり
- ・「歯科治療での感染がこわいので」というキャンセルが4、5月は多かった
- ・歯科医院は自粛対象に入らないのか。厚労省が歯科医院は感染のリスクが高いから受診を控えるように言っている

## 8. 国・自治体等の助成金や融資について

持続化給付金を申請する予定について、59.0%が「予定していない」と回答している一方、「申請した」5.1%と「申請を検討している」20.5%と「申請したいができない」9.0%を合わせると34.6%と一定数いることが分かった。「申請したいができない」の回答者に理由をたずねたところ、「基準に合致しない」「50%以下にならない」との回答であった。

①持続化給付金を申請する予定	回答数	割合(%)
申請した	4	5.1
申請を検討している	16	20.5
申請したいができない※2	7	9.0
予定していない	46	59.0
無回答	5	6.4
合計	78	100.0



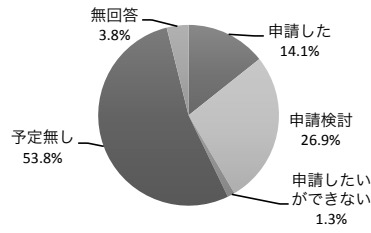
※2理由(基準に合致しない、50%以下にならないなど)

国の緊急融資や民間金融機関経由の無利子融資を申請する予定について、53.8%と約半数が「予定していない」と回答している一方、「申請した」14.1%と「申請を検討している」26.9%と、「申請したいができない」1.3%を合わせると42.3%もいることが分かった。「申請した」内容をたずねたところ、「民間金融機関経由の無利子融資」3人、「福祉医療機構」2人等の回答であった。

②国の緊急融資や民間金融機関経由の無利子融資を申請する予定	回答数	割合(%)
申請した※3	11	14.1
申請を検討している	21	26.9
申請したいができない	1	1.3
予定していない	42	53.8
無回答	3	3.8
合計	78	99.9

※3の内容(福祉医療機構2、民間金融機関経由の無利子融資3、運転資金)

国の緊急融資や民間金融機関経由の無利子融資

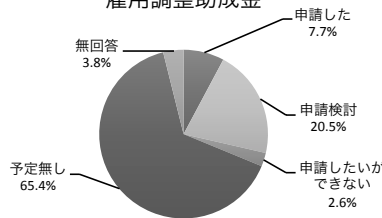


雇用調整助成金を申請する予定について、65.4%が「予定していない」と回答している一方、「申請した」7.7%と「申請を検討している」20.5%と、「申請したいができない」2.6%を合わせると30.8%と一定数いることが分かった。「申請したいができない」の回答者に理由をたずねたところ、「ハードルが高い」との回答であった。

③雇用調整助成金を申請する予定	回答数	割合(%)
申請した	6	7.7
申請を検討している	16	20.5
申請したいができない※4	2	2.6
予定していない	51	65.4
無回答	3	3.8
合計	78	100.0

※4理由(ハードルが高い)

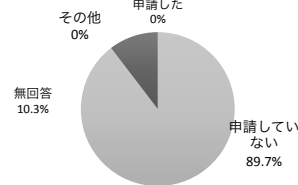
雇用調整助成金



5月診療報酬の一部概算前払いについて「申請した」は0件であった。

④5月診療報酬の一部概算前払い	回答数	割合(%)
申請した	0	0.0
申請していない	70	89.7
その他	0	0.0
無回答	8	10.3
合計	78	100.0

5月診療報酬の一部概算前払い

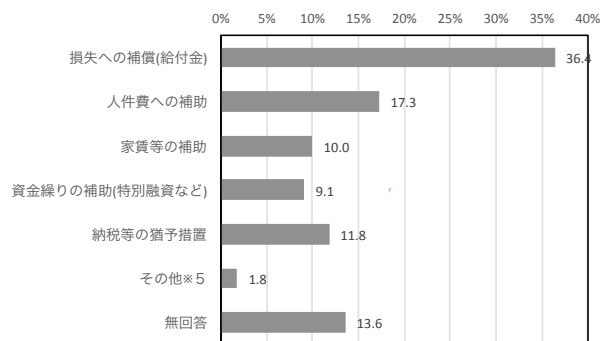


国・自治体等に創設・拡充を希望する支援策について、「損失への補償(給付金)」が36.4%と最も多く、続いて人件費への補助17.3%、納税等の猶予措置11.8%、家賃等の補助10.0%、資金繰りの補助(特別融資など)9.1%の順であった。

⑤国・自治体等に希望する支援策	回答数	割合(%)
損失への補償(給付金)	40	36.4
人件費への補助	19	17.3
家賃等の補助	11	10.0
資金繰りの補助(特別融資など)	10	9.1
納税等の猶予措置	13	11.8
その他※5	2	1.8
無回答	15	13.6
合計	—	—

※複数回答可※5エタノール等の支給、なし

希望する支援策



## 9. コロナ感染拡大に伴う不安やお困りごと、行政への要請、保険医協会、保団連への要望等

- ・歯科医療機関が院内感染防止の最大限の努力をしており、感染リスクは無い点をもっとアピールして欲しい。(新型コロナウイルス感染が歯科医院を通じて生じた事例は報告されていない)
- ・消毒液の確保、家賃補助を早く
- ・このどさくさにまぎれて、コソコソと自民会派入りした反自公当選したはずの参議員がいる。重大な背信行為なので、放置出来ない。
- ・政府は、医療機関に優先的にマスク等の不足している医療品を配布すると言っているが、政府の言っている医療機関とはコロナを診ている医療機関のことで、歯科は入らないのか？
- ・コストがあまりかからないメンテナンスのキャンセルが増えて、材料代、技工代等のかかる治療が増えたため、収支は悪化しています。現在、基準となっているのは売り上げのみで、歯科の特殊性も考慮した補助、制度があると助かります。
- ・休業をお願いするのであれば、国、自治体が補償すべき。お願いはするがお金は出さないでは話にならない。
- ・衛生用品などがいつもの3~4倍の価格でないと購入できない物がある。売り上げは半減しないが、軽費は高くなっている。
- ・厚労省発出の4/6通知は事実上の自粛要請である。国による損失補償が必要。地域医療の崩壊を招きかねない。今後、第2波、第3波が来た場合はより深刻。
- ・スタッフが不安に思うことをできるだけ取り除いてほしい。衛生用品や、防護用品を不足しないように早く整備して欲しい。高い用品を買い求めている状態を早く解消して欲しい。
- ・各種助成金の申請がもう少し簡略化して欲しい。助成しにくくしているのではと思うほど、申請書類が多過ぎます。
- ・Pdだけでも高く大変なのに、感染対策用品全て高く、手に入りにくくお金がかかるのに対して、患者の受診控えによって収入は減少して困っている。また、患者減少によりレセプト件数も減少して、1件平均点が高くなり高点指導が心配になってくる
- ・金パラ(歯科用合金)の逆ザヤを解消して欲しい。
- ・歯科入院患者、全身麻酔患者における術前PCR検査を実施できる体制
- ・当方ならびに当院スタッフ、過去にインフルエンザに罹患したことがあります。いつ、当院のメンバー等がコロナウイルス疑いになるのか、また院長がなってしまった場合は、相当大きな風評被害になるのではないかと思っています。
- ・歯科で従事しているスタッフはメディアの煽りで仕事をしなくなっている人もいます。危険手当と言っていますが、唾液が最も飛び交うこの環境で働いている私達への配慮というものをもっと確認してもらいたい。諸外国と比較しても圧倒的に安い歯科治療ではないと思う。
- ・患者もスタッフも感染予防の意識が出来て良かった。マスクが10倍くらいの値段になったのが残念だが、それに伴い、保険点数を少し上げてくれたら良いですかね。金パラの方がきついです。
- ・引き続き、国や自治体に支援を要望して欲しい。
- ・今回感染防止のため、色々な物を購入しました。口腔外バキューム、エアコン(待合室のより抗菌等の衛生面の効果がありそうなもの)次亜塩素酸水、仕切りのビニール、アルコール等その購入の補助があればと思っています。日歯の広報第2版にN95マスクの使用できない時には応急処置にとどめるとありますが、歯科医師会からのN95マスク又は同等マスクは買うことは無理ですよ。
- ・歯科介入の重要性、口腔ケアの重要性、歯科の現場においてコロナが発生していない事を大きく伝えて欲しいです。
- ・とにかく減収で資金繰りが苦しくなっている国で補填して欲しい。
- ・感染対策として購入、設置したグローブ、バーテーション費用を補助して欲しい。
- ・コロナ禍で財政が苦しくなると、歯科に対して圧力をかけてこないか心配である。保険点数の抑制、算定要件のしぼり強化、厚生局による指導のより一層の強化など次の展開に備えて見張って行く必要がある。